

平成29年度

# 岐阜県 美術館 年報 35

2017.4→2018.3

## 目次

はじめに	2
1   展示事業	
1. 所蔵品展示	3
2. 企画展	25
3. 共催展など	36
4. 移動美術館	42
5. ナンヤローネスクールミュージアム	44
6. 観覧者数	46
2   教育普及活動	
1. 講座・ワークショップなど	49
2. アーティスト・イン・ミュージアム(AiM)	56
3. コンサートなど	58
3   県民関連事業	
1. 県民ギャラリー	60
2. 美術館サポーター	62
3. 教育機関との連携	64
4. バリア・フリーの推進	70
4   所蔵作品と図書	
1. 新収蔵作品	71
2. 作品貸出記録	78
3. 作品の保存修復	82
4. 主要刊行物	87
5. 主要新収蔵図書	88
5   組織	
1. 組織と業務	89
2. 職員	90
3. 協議会、委員会	91
4. 関係法規	92
6   沿革と施設	
1. 沿革	99
2. 施設概要	107
7   利用案内	
1. 利用案内	111
2. 後援会	112
研究紀要	113



## はじめに

このたび、平成29(2017)年度の事業をまとめた『岐阜県美術館年報 35号』を発行することとなりました。

岐阜県美術館は、昭和57(1982)年に開館して以来、郷土に根つきながら、世界に視野を広げた美術館活動を目指してきました。

平成29年度は、企画展として、7月からは「日本画の逆襲」展を開催し、材料や技法など現代的な応用を試みるなど、アイデンティティを自らに問いつつ、さまざまな取組みによって現代日本画の道を探る作家たちの近作・新作を紹介しました。9月からは、「BY 80s FOR 20s」展を開催しました。開館35周年の節目となる年に、アートが社会へと拡がる1980年代をフィーチャーし、2020年代へ向けて、地域の中へと浸透していく新たなアートを探りました。第3回となるアートまるケットでは、岐阜県立国際園芸アカデミー、岐阜県立国際たぐみアカデミー、岐阜県立森林文化アカデミー、情報科学芸術大学院大学[IAMAS]の県立教育機関との連携に加えて、福祉施設等との協働など、より広く深くアートをとおし集めました。その活動をもとに8月から11月にかけて、美術館で「アートまるケット 日比野克彦ディレクション ツナがり ツナがる ツナがれば」を展開し、第1回目の「花」と第2回目の「川」を「ツナげる」と共に、異なる環境や思いを持つ人々が「ツナがる」ことを感じ、互いの時間を共有する場を創出しました。11月からは、「ディアスポラ・ナウ！」展を開催しました。今日、多くの人々が、紛争や災害に巻き込まれ、その地に足止めされ、あるいは故郷から追われて戻れずにいます。本展では、ビデオアートを中心とした作品により、奪われた故郷と世界にむけて、メッセージを送りました。

所蔵品による展示では、充実したさまざまな展示を行いました。特に開館35周年記念として、「熊谷守一襖絵展」「岐阜県美術館と田口コレクション展」「Nude」「山本芳翠展」を開催し、これまでに築き上げたコレクションを紹介しました。

教育普及事業としては、ナンヤローネ・プロジェクトを通して、学芸係と教育普及係が一体となった事業をさらに推し進めました。鑑賞プログラムをリニューアルした「ナンヤローネアートツアー」では、アートコミュニケーション作品《Such Such Such》<sup>あんな そんな こんな</sup>を活用し、コネクターを用いた言葉に頼らない鑑賞活動により、気づきと表現を促しました。「ナンヤローネワークショップ」では、年齢層を絞らず、すべての人に美術館を楽しんでいただくよう、毎回異なるテーマでプログラムを構成しました。他にも平成27(2015)年度から始めた「GIFUワークショップギャザリング」によって、他館連携が定着し、館外での交流が拡大してきました。

平成29年度の作品収集では、県ゆかりの日本画家・前田青邨の《日子穂々手見命》、企画展「日本画の逆襲」で紹介した気鋭の日本画家7名の作品、岐阜県関市に工房をもつ重要無形文化財保持者・土屋順紀の極めて貴重な紋紗着物を2点、岐阜県多治見市出身の鈴木徹《緑釉花器》、東正之《青釉壺》、若尾経《象牙瓷合子》を購入したことをご報告いたします。

寄贈では、川合玉堂、前田青邨、勝呂忠、三尾公三、日比野克彦をはじめとする岐阜所縁の作品をご寄贈いただきました。なかでも熊谷守一については、大変重要な作品が多数寄贈されました。今年度も多くの方々のご厚意により充実した収集内容となりました。重ねて御礼申し上げます。

岐阜県美術館は、県民をはじめとする皆様方の期待に応えていくよう、一層努力していきたいと思っております。ますますのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月

岐阜県美術館